

## 真生会富山病院を受診された患者の皆さま

当院は下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

|                        |  |
|------------------------|--|
| 研究課題名                  | 早期肩内外旋自動介助運動施行症例の<br>初期疼痛、可動域について  |
| 当院の研究責任者(所属)           | 高橋 武広 ( 真生会富山病院<br>リハビリテーション科 )  |
| 他の研究機関および<br>各施設の研究責任者 | 該当なし   |
| 本研究の目的                 | 術後早期からの肩周囲軟部組織への自動介助運動という刺激導入することにより位置覚低下を予防出来るのか、また予防できる事で術後初期の疼痛軽減、可動域改善が可能であるかを<br>確認したい。   |
| 調査データの該当期間             | ・症例登録日 承認日～2020年5月9日。<br>・実施期間 承諾日～2021年12月31日   |
| 研究の方法(対象となる方)          | 1 入院／外来:入院患者のみ。<br>2 同一術者にてARCRのみを施行された症例。<br>3 小中断裂のみと診断された症例。<br>4 非術側肩関節に既往歴がない。<br>5 年齢:同意取得時に45歳以上75歳未満の患者。<br>6 性別:不問。   |
| 研究の方法(使用する情報)          | 1 患者背景:患者イニシャル、性別、生年月日、合併症、既往歴、現病歴、認知症状の有無。<br>2 術後1週での術側他動肩関節肩甲骨面挙上角度。<br>3 術後1週での疼痛 : Numerical Rating Scale (NRS)を用い夜間痛、運動時痛、安静時痛を確認。<br>4 術後1週での肩関節相対誤差値。<br>5 術後3か月での肩関節機能を日本整形外科学会肩関節疾患治療成績判定基準にて評価。<br>6 術後3か月での腱板修復部の連続性を菅谷の分類を用い確認する。 |
| 試料／情報の他機関への提供          | 該当なし   |
| 個人情報の取り扱い              | 使用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。   |
| 本研究の資金源(利益相反)          | 本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。   |
| 相談・問い合わせ・苦情            | 電話:0766-52-2111<br>担当者: 高橋 武広 ( 理学療法士 )  |
| 備考                     |  |